

県営 農村地域防災減災事業（ため池整備）

法楽寺大池地区

令和3年度竣工



富山県高岡農林振興センター



小 矢 部 市



小 矢 部 市 土 地 改 良 区

水と土を大切に
地産地消を推進

（令和3年 10月発行）

1. 改修の経緯

法楽寺大池は小矢部市街地より北部に位置し、築造時期は不明であるが、昭和 46 年頃に全面改修が行われている。堤体上流法面は波浪による侵食が進み、断面変化が著しい。また、堤体の上下流法面勾配は平均 1:1.2 程度であり、標準勾配に対して急であるため、安定性を欠いている。これにより、左岸にある取水施設、洪水吐等のコンクリート構造物の基礎部が浸食され、陥没が発生している箇所も見られる。

したがって、今後、豪雨・地震等の外的要因が加われば、ため池決壊やため池施設の機能が失われる危険性が極めて高く、下流の農地や周辺集落に多大な被害をもたらす危険性が懸念されるため、早急にため池堤体及び付帯施設の改修を行う必要があった。

このため、平成 29 年度に県営農村地域防災減災事業（ため池整備）として着手し、令和 2 年度に完了した。本事業のため池改修は、災害の発生を未然に防止するとともに、安定的な農業経営を確保することを目的に実施された。

【改修前のため池状況】



堤体上流法面の侵食

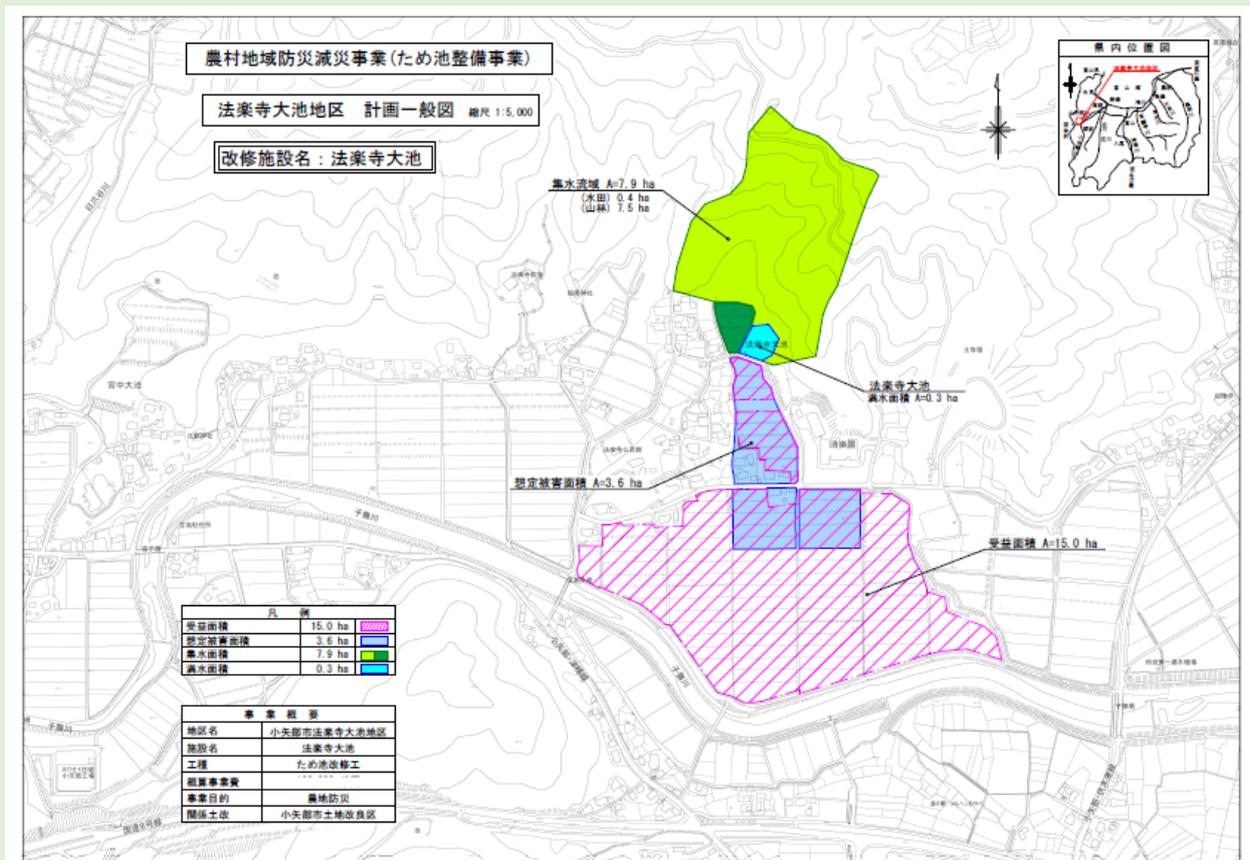


堤頂道路（市道）のクラック



斜樋基礎部の侵食

2. 位置図及び受益範囲

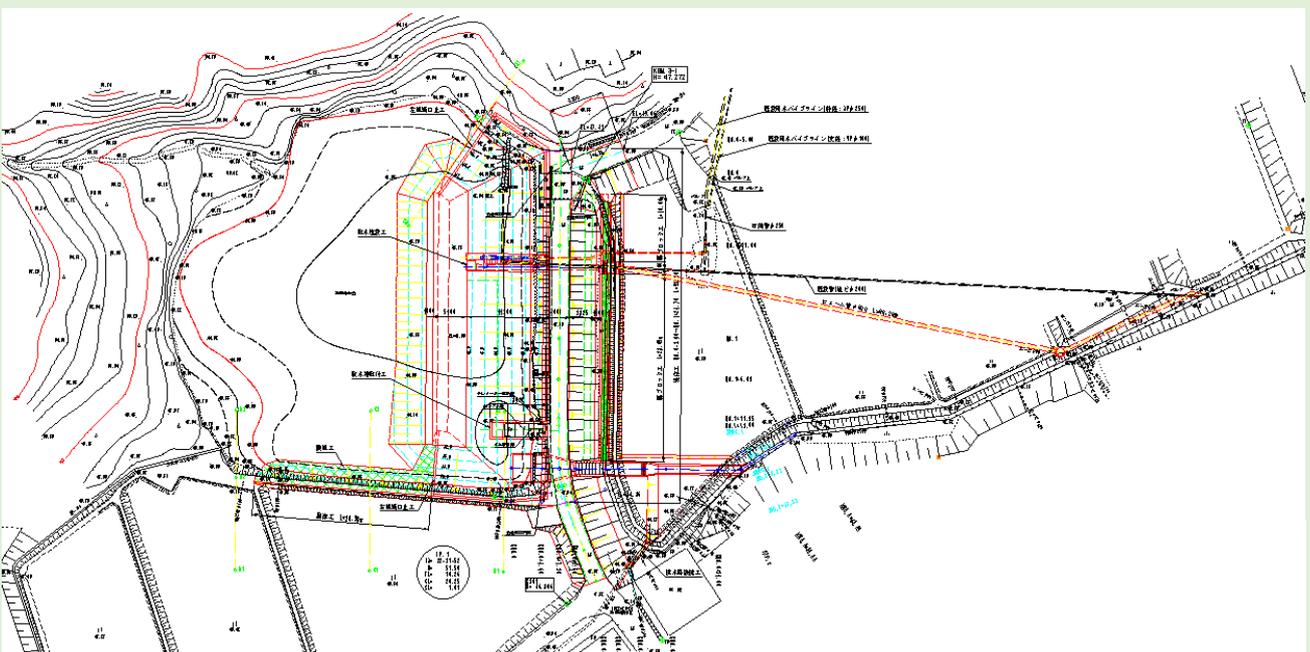


3. 計画概要及び計画図

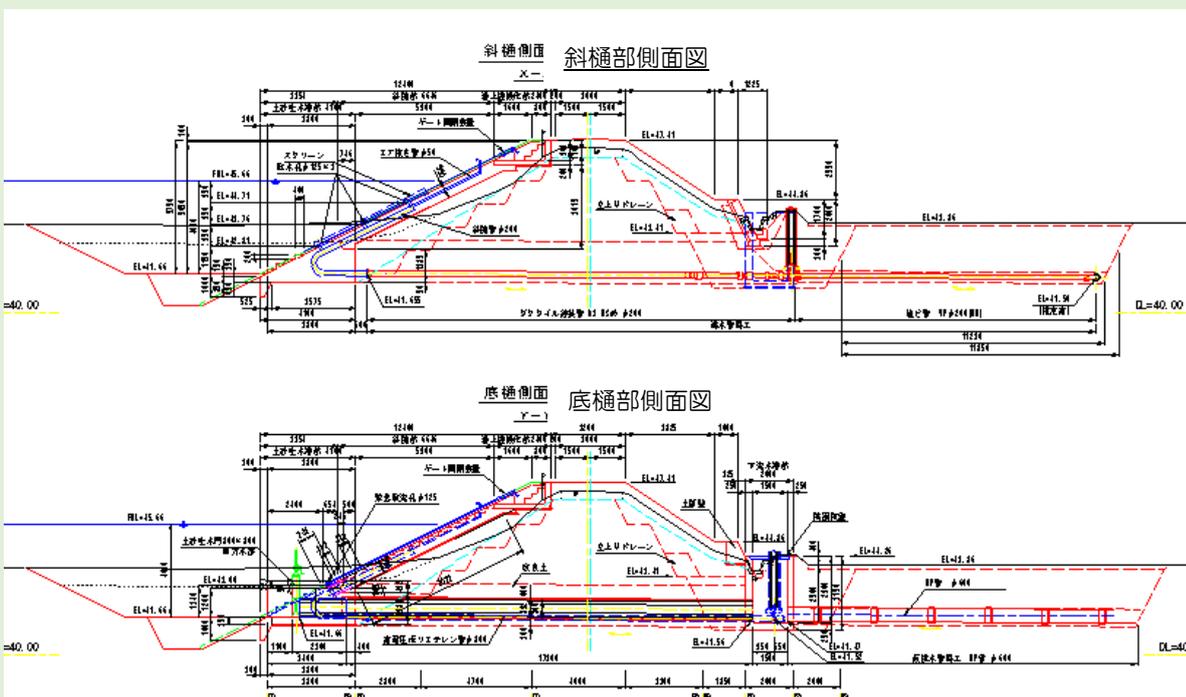
ため池計画概要

項目	内容
堤体	型式：表面遮水型（遮水シート（塩ビ）、布製型枠） 堤高 5.75m 堤頂幅 4.0m 堤長 53.30m 貯水深 4.00m
洪水吐	型式：正面越流堰型 延長 35.60m 洪水量 1.68m ³ /s
取水施設	流入部：斜樋型 鋼管巻立 土砂吐水槽部：土砂吐ゲート SUS304 四方水密 800×800 導水路部：ダクティル鉄管φ200 延長 17.70mm 底樋部：高耐圧ポリエチレン管φ800 延長 17.30m
貯水量	4,063m ³
標高	堤高 47.41m 計画洪水位 46.00m 最大貯留水位 45.66m

計画平面図



横断面図



4. 事業内容

(4-1) 事業概要

項目	内容
所在地	富山県小矢部市 法楽寺地内
事業名及び地区名	農村地域防災減災事業（ため池整備） 法楽寺大池地区
事業期間	平成29年度～令和2年度
受益面積	15.0ha
事業費	189,000千円
負担割合	国55% 県30% 市15% 受益者0%
目的	かんがい 灌漑
改修する施設	堤体工、洪水吐工、取水施設工（斜樋、底樋）、付帯施設
事業主体	富山県（高岡農林振興センター）
管理主体	小矢部市土地改良区（法楽寺大池地区委員会）
改修前の造成事業	S46老朽ため池整備事業 法楽寺地区 事業主体：小矢部市
関係河川	1級河川 小矢部川水系 子撫川

(4-2) 工種及び事業費

工種	内容	事業費（円）
工事費		166,343,231
・ため池改修工	堤体工、洪水吐工、取水施設工、付帯施設工他	148,130,400
・取水施設工	取水施設（斜樋）、手摺	13,009,700
・整備工	整備工（安全施設、舗装復旧、採土地整備等）	5,203,131
測量設計費	土質調査、測量設計、施設台帳	21,173,720
用地補償費	用地買収、用地借上げ	1,483,049
計		189,000,000

【改修後のため池状況】



洪水吐
（ため池下流側より望む）



取水施設
（池底より望む）



堤頂市道復旧
（ため池左岸側より望む）

(4-3) 事業経過

年度	内容	備考
平成28年度	法手続き（同意徴集）	
平成29年度	土質調査（堤体）	共栄興業(株)
平成30年度	測量設計 土質調査（採土地）	(株)協和 ヤマト地質調査(株)
令和元年度 ～ 令和2年度	用地買収、用地借上げ 堤体改修工事 取水施設製作据付工事	(株)吉田組 水機工業(株)
令和3年度	整備工事 施設台帳	(株)吉田組 富山県土地改良事業団体連合会